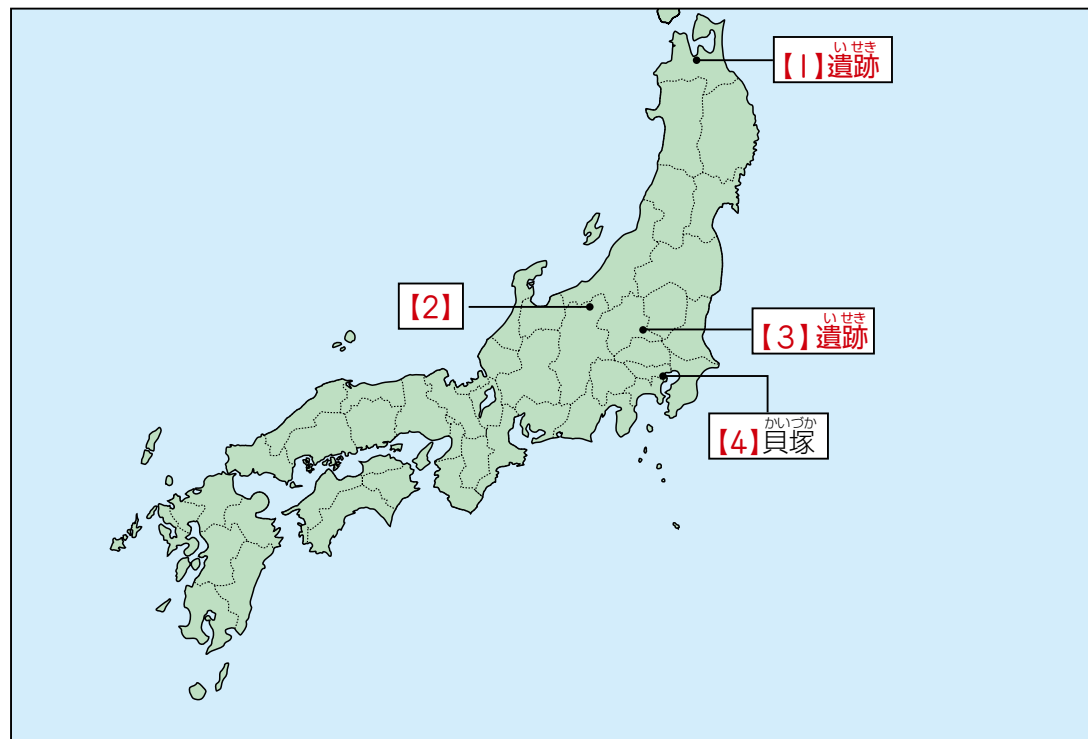


旧石器時代～縄文時代の主な遺跡

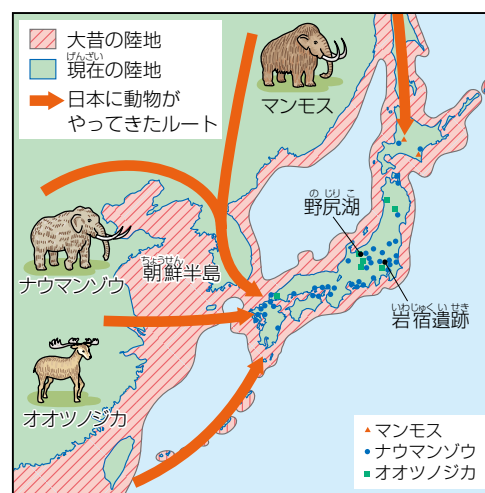
打製石器を使用していた旧石器時代や、縄文土器を用いるようになった縄文時代について、重要な発見のあった遺跡を中心に確認していきましょう。



旧石器時代～縄文時代の主な遺跡

旧石器時代の日本

- 旧石器時代…石をくだいてつくった【5】石器を使用しました。
- 日本列島は大陸と陸続きだったため、ナウマンゾウ・マンモス・オオツノジカなどを追って大陸から人々がわたってきました。
- 【3】遺跡（群馬県）…日本に旧石器時代があったことを証明した遺跡。相沢忠洋が発見しました。
- 【2】（長野県）…ナウマンゾウなどの化石や打製石器が発見されました。



大陸と陸続きだったころの日本

縄文時代の日本

- 【6】時代…約1万2000年前から1万年以上続いた時代。【6】土器がつくられ、狩り・漁・採集などを行って生活しました。
- 【1】遺跡（青森県）…約5500～4000年前の縄文時代の巨大な集落跡。最も人口が多かった時期には500人もの人々が住んでいたと考えられています。
- 【7】…縄文時代の人々が、貝がらなどの食べ物の残りを捨てた跡。アメリカ人の動物学者モースが発見した【4】貝塚（東京都）が有名です。

ポイント 遺跡の名前と発見されたものをセットで覚えよう！

- 旧石器時代 岩宿遺跡（群馬県）…日本の旧石器時代を証明
野尻湖（長野県）…ナウマンゾウの化石が発見された
- 縄文時代 三内丸山遺跡（青森県）…縄文時代の巨大な集落跡

✓ 貝塚の分布 さらにチェック！

【7】は水辺や海辺につくられたため、【7】の分布を調べることで、縄文時代の海岸線の様子を知ることができます。
右の地図は関東地方の【7】の分布と、そこから予想される縄文時代の海岸線の位置です。現在よりも内陸まで海水が入りこんでいたと考えられています。

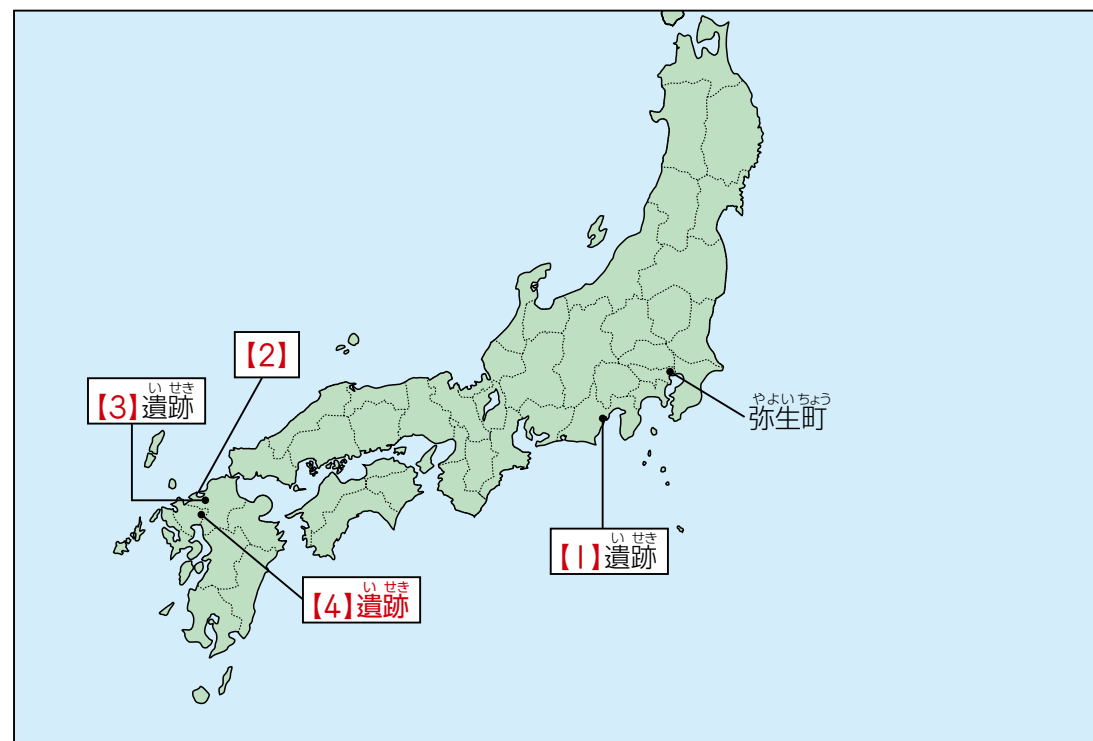


入試ではここが問われる！

- 旧石器時代では岩宿遺跡・野尻湖、縄文時代では三内丸山遺跡の位置がよく出題されます。都道府県名が問われることも多いので、地図上の位置と都道府県名をしっかりと覚えましょう。
- 貝塚の分布の地図を使用して考えさせる論述問題が出題されています。「貝塚の分布から海岸線の様子がわかる」という点をおさえて問題に取り組む必要があります。



紀元前4世紀ごろ、中国や朝鮮半島から米づくりと金属器が伝えられました。
弥生時代の主な遺跡の場所を、特徴とともにおさえましょう。



弥生時代の主な遺跡

弥生時代の日本

- **【5】時代**…紀元前4世紀以前～紀元後3世紀ごろ。米づくりと金属器（鉄器・青銅器）が中国や朝鮮半島から伝えられました。
- **【5】土器**…**【5】時代**につくられた土器。弥生町（東京都）で発見された事から名づけられました。



米づくりが伝わった経路

弥生時代の主な遺跡

【4】遺跡（佐賀県）	深いほりに囲まれた集落跡。物見やぐらや高床の倉庫などが発見された。
【2】（福岡県）	「漢委（倭）奴国王」と刻まれた金印が発見された。『後漢書』東夷伝に記されているものと推定。
【3】遺跡（福岡県）	縄文時代終わり～ 【5】 時代初めごろの米づくりの跡が残った遺跡。
【1】遺跡（静岡県）	【5】 時代後期の米づくりの跡が残った遺跡。

ポイント 遺跡の名前と発見されたものをセットで覚えよう！

- 吉野ヶ里遺跡（佐賀県）…弥生時代の集落跡
- 志賀島（福岡県）…「漢委（倭）奴国王」の金印

邪馬台国と東アジア さらにチェック！

3世紀、中国では魏・呉・蜀の三国が並び立つ三国時代をむかえていました。

『魏志』倭人伝には、**【6】**の女王**【7】**が中国の魏に使いを送って、「親魏倭王」の称号と金印を授けられたと記されています。

【6】の位置については、九州北部という説と大和地方（奈良県）という説があります。**纏向遺跡（奈良県）**は、**【6】**の跡と考えられている遺跡の一つで、この遺跡にふくまれる箸墓古墳は、**【7】**の墓であるという説もあります。

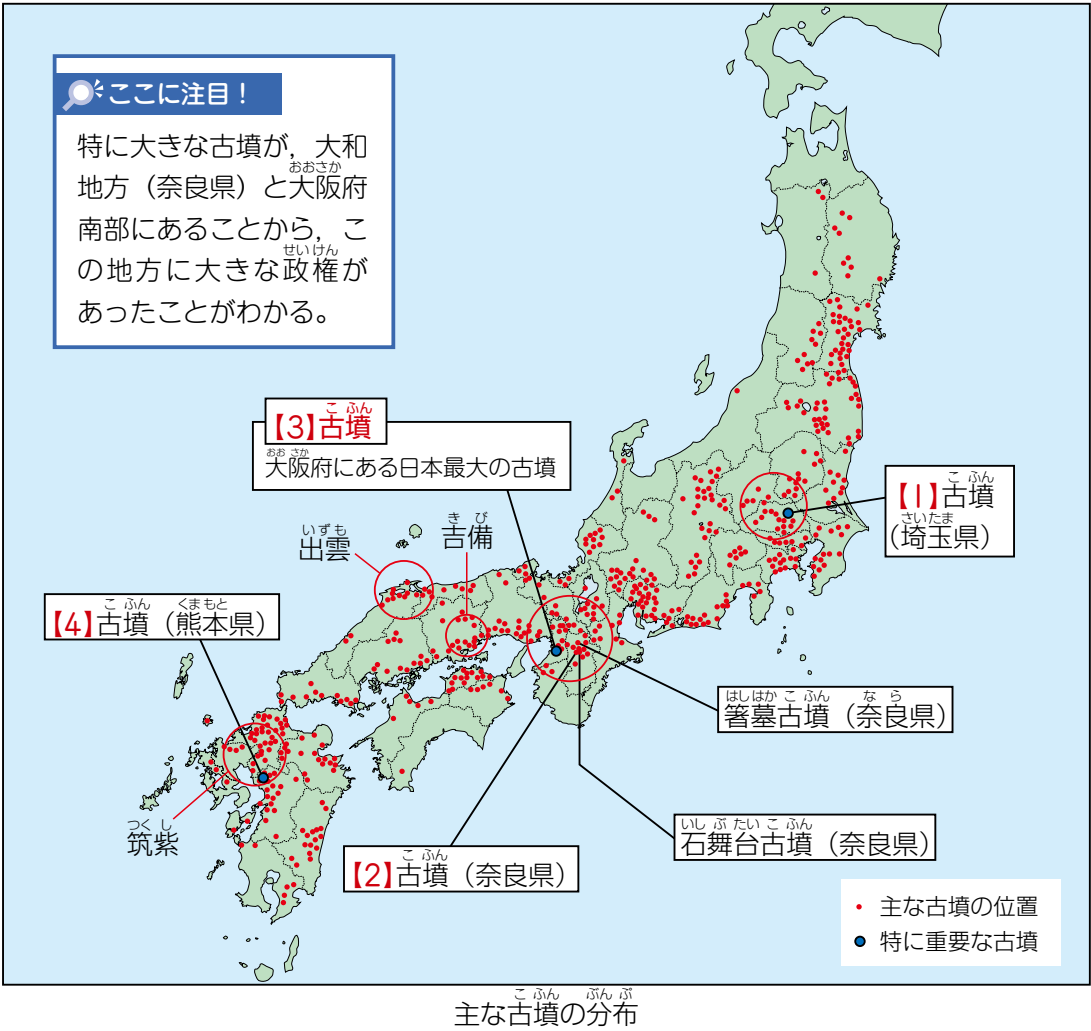


入試ではここが問われる！

- 弥生時代の遺跡では、吉野ヶ里遺跡と志賀島の位置がよく出題されています。志賀島については、位置と合わせて、金印に刻まれた文言や金印が伝わった経緯も確認しておきましょう。

3 古墳時代

3 世紀後半から、大和地方（奈良県）を中心に古墳がつくられ始め、やがて九州地方や東北地方まで広がりました。古墳時代の日本と、そのころの朝鮮半島について見ていきます。



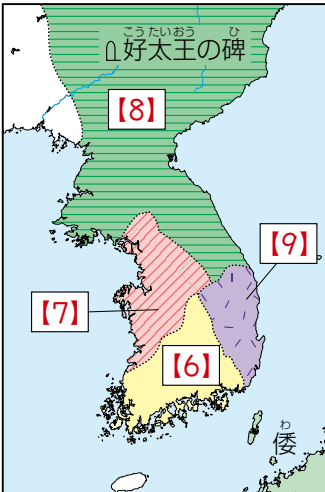
[3] 古墳（大阪府堺市）	日本最大の古墳で、世界最大級の墓
[1] 古墳（埼玉県）	「[5] 大王」ときざまれた鉄剣が出土
[4] 古墳（熊本県）	「[5] 大王」ときざまれた鉄刀が出土
[2] 古墳（奈良県）	あざやかな壁画が発見された

大和朝廷の支配

- 大和朝廷（ヤマト政権）の [5] 大王の名がきざまれた鉄刀や鉄剣が、九州地方や関東地方の古墳から出土しており、5 世紀ごろには、大和朝廷の勢力が九州地方から関東地方までおよんでいたことがわかります。
- 吉備（岡山県）、出雲（島根県）、筑紫（福岡県）などにも古墳が多くあり、この地方にも力をもつ豪族がいたと考えられています。

大和朝廷の朝鮮半島への進出

- 4 世紀中ごろ、大和朝廷は、進んだ技術や鉄を得るために、朝鮮半島南部の [6] 地方に進出しました。
- 「好太王（広開土王）の碑」には、大和朝廷が [7] と手を組んで、[8] や [9] と戦ったものの、[8] に敗れたことが記されています。



4～5 世紀ごろの朝鮮半島

渡来人と大陸の文化

- 古墳時代、[10] によって土木技術などのさまざまな技術が伝えられました。
- 6 世紀中ごろに、[7] から仏教が公式に伝えられました。

ポイント 古墳の分布がもつ意味も考えよう！

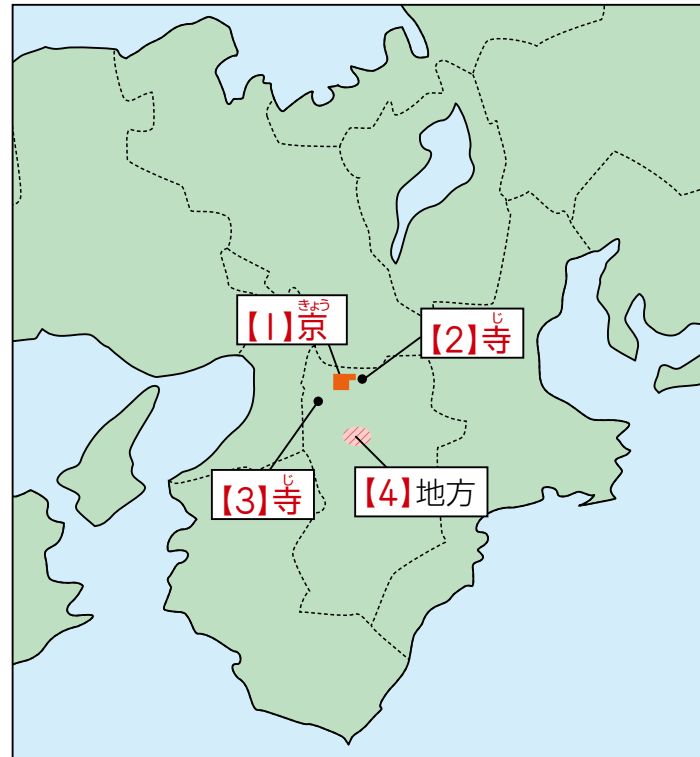
- 日本最大の古墳…大仙古墳（大阪府堺市）
- 江田船山古墳（熊本県）と稲荷山古墳（埼玉県）…出土品から、大和朝廷の支配が九州地方から関東地方までおよんでいたことがわかる

入試ではここが問われる！

- 古墳の分布や、鉄刀・鉄剣が出土した場所から、大和朝廷の支配領域について考える問題が見られます。
- 大仙古墳や 4～5 世紀ごろの朝鮮半島の国々は、場所を問われることが多くあります。くわしい位置まで確認しておきましょう。

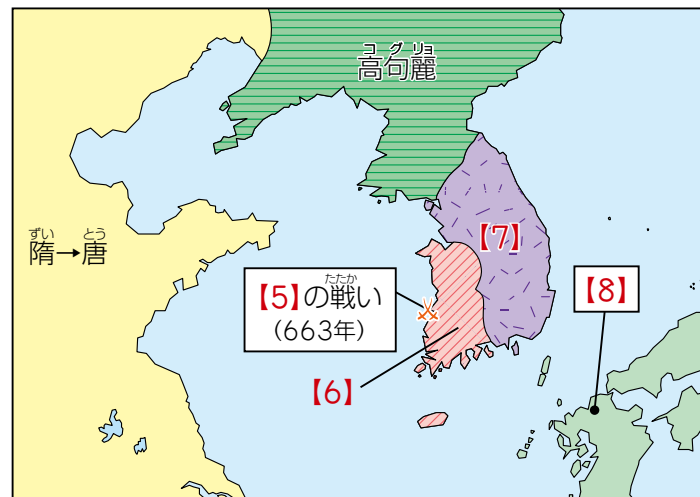


政治の中心が奈良県の飛鳥地方に置かれていた飛鳥時代から、平城京で政治が行われた奈良時代までを確認します。政治の中心となった場所や、都が置かれた場所に注目しましょう。



飛鳥地方と平城京

関連 ➡ 76 ページ 主な都と幕府の位置



6～7世紀の朝鮮半島

飛鳥時代

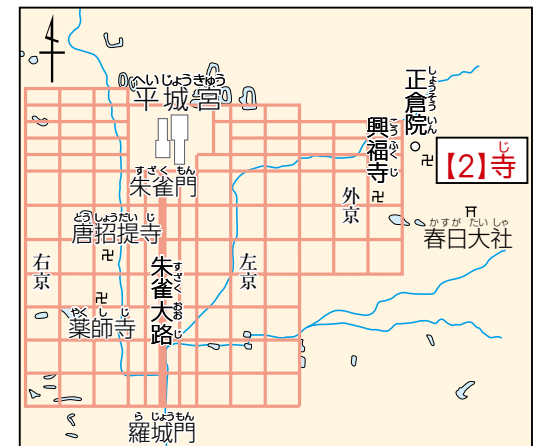
- 6世紀末から8世紀初めには、都は【4】地方（奈良県）に置かれていました。
- 推古天皇の摂政となった【9】は、天皇を中心とした国づくりを進めました。仏教を重んじ、【3】寺など多くの寺を建立しました。【3】寺は、「【3】地域の仏教建造物」として、世界遺産に登録されています。

7世紀の朝鮮半島

- 日本で【10】が政治を行っていた7世紀中ごろに、朝鮮半島で唐と【7】の連合軍が【6】をほろぼしました。日本は、【6】の再興を助けるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、663年の【5】の戦いで敗れました。

奈良時代

- 藤原京（奈良県）から、710年に【1】京（奈良県）に都が移されました。【1】京は、唐の【11】を手本につくられました。
- 【1】京北部の中央に天皇の住居と朝廷の役所がある平城宮（大内裏）が置けました。
- 【12】天皇は仏教の力で国を治めようとし、全国に国分寺と国分尼寺を建立しました。さらに、奈良の【2】寺に大仏をつくりました。



平城京の地図

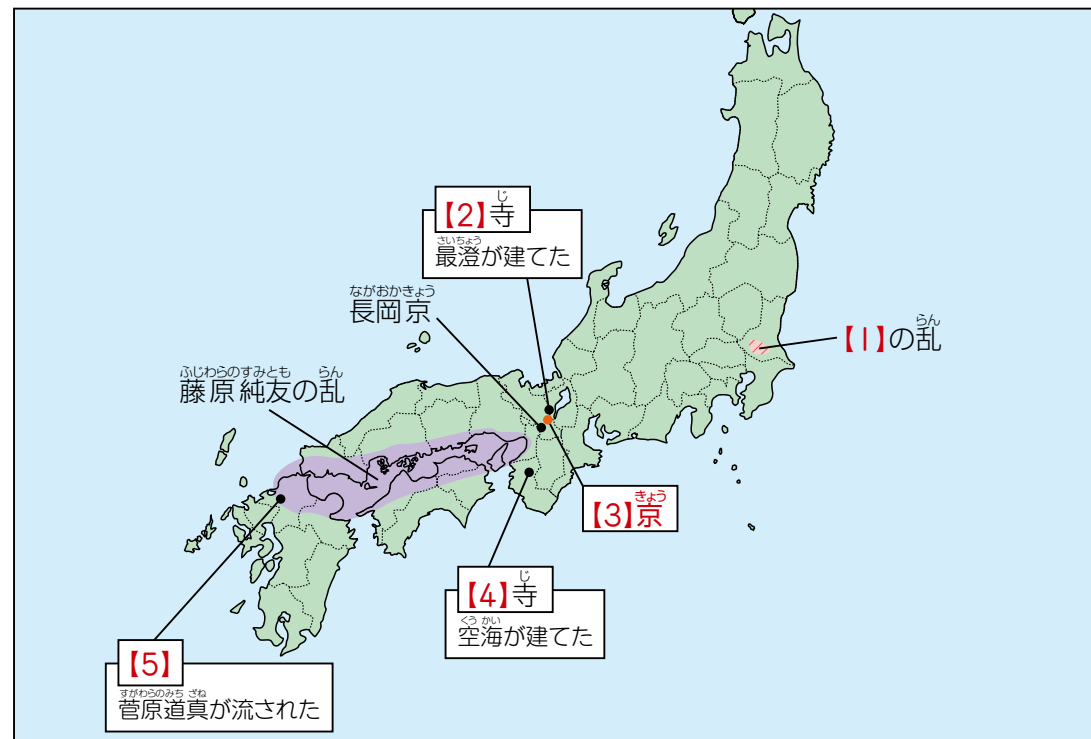
ポイント 地図で場所を確かめよう！

- 飛鳥時代…政治の中心は飛鳥地方。聖徳太子が法隆寺を建立した。
- 奈良時代…平城京に都が移された。平城京の東に、東大寺がつけられた。

入試ではここが問われる！

- 平城京の位置だけでなく、法隆寺や東大寺などの寺社の場所が問われることも多くあります。奈良県のどのあたりにあるかをおさえておきましょう。
- 東大寺については、平城京との位置関係を問うものも見られます。くわしい位置まで確認しておきましょう。

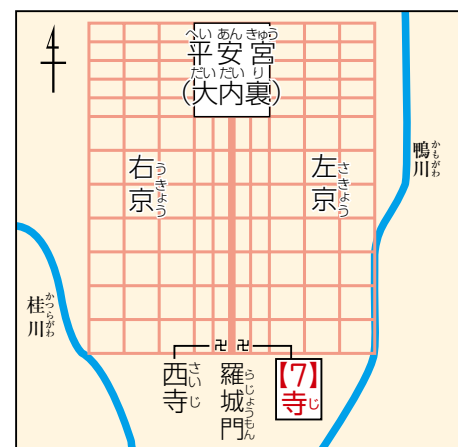
794年に京都の平安京へ都が移されました。平安京で貴族などが政治を行った平安時代について、武士の登場までを確認します。

へいあんじだい
平安時代

関連 ➡ 76 ページ 主な都と幕府の位置

平安京

- 奈良時代の終わりごろから、貴族の争いが起こったり、僧が政治に口出しをしたりするなど、政治がみだれ始めました。そこで、**桓武天皇**は長岡京（京都府）を経て、**[3] 京（京都府）**に都を移し、天皇中心の政治を取りもどそうとしました。
- 平城京と同じく、**[3] 京**も唐の都である**[6]**を手本につくられました。

へいあんきょう
平安京の地図

新しい仏教

- 9世紀初め、遣唐使とともに唐へわたった僧たちが、新しい仏教を伝えました。
- [8]**…天台宗を開き、比叡山（滋賀県・京都府）に**[2] 寺**を建てる。
- [9]**…真言宗を開き、高野山（和歌山県）に**[4] 寺**（金剛峯寺）を建てる。

武士たちの反乱

- 地方では、豪族や有力な農民が私有地を広げており、土地や財産を守るため、一族や農民に武器をもたせ、武装させる者がいました（武士の始まり）。
- 力をつけてきた武士の中には、地方で反乱を起こす者もいました。
- [1] の乱**…935年に関東地方で平将門が起こした反乱。
- 藤原純友の乱…939年に瀬戸内海で藤原純友が起こした反乱。

ポイント 地図で場所を確かめよう！

- 平安京…京都の桂川と鴨川の間になれる
- 延暦寺…現在の滋賀県・京都府
- 金剛峰寺…現在の和歌山県

遣唐使と菅原道真

さらにチェック！

遣隋使や初期の遣唐使は、朝鮮半島沿岸を通る比較的安全な、北寄りの航路を使っていました。しかし、新羅との関係が悪化し、朝鮮半島の近くを通れなくなったため、8世紀ごろからの遣唐使は、危険な南寄りの航路を使うようになりました。

遣唐使は894年に、菅原道真の意見により廃止されました。

その後、菅原道真は藤原氏によって、九州の**[5]**に流されました。

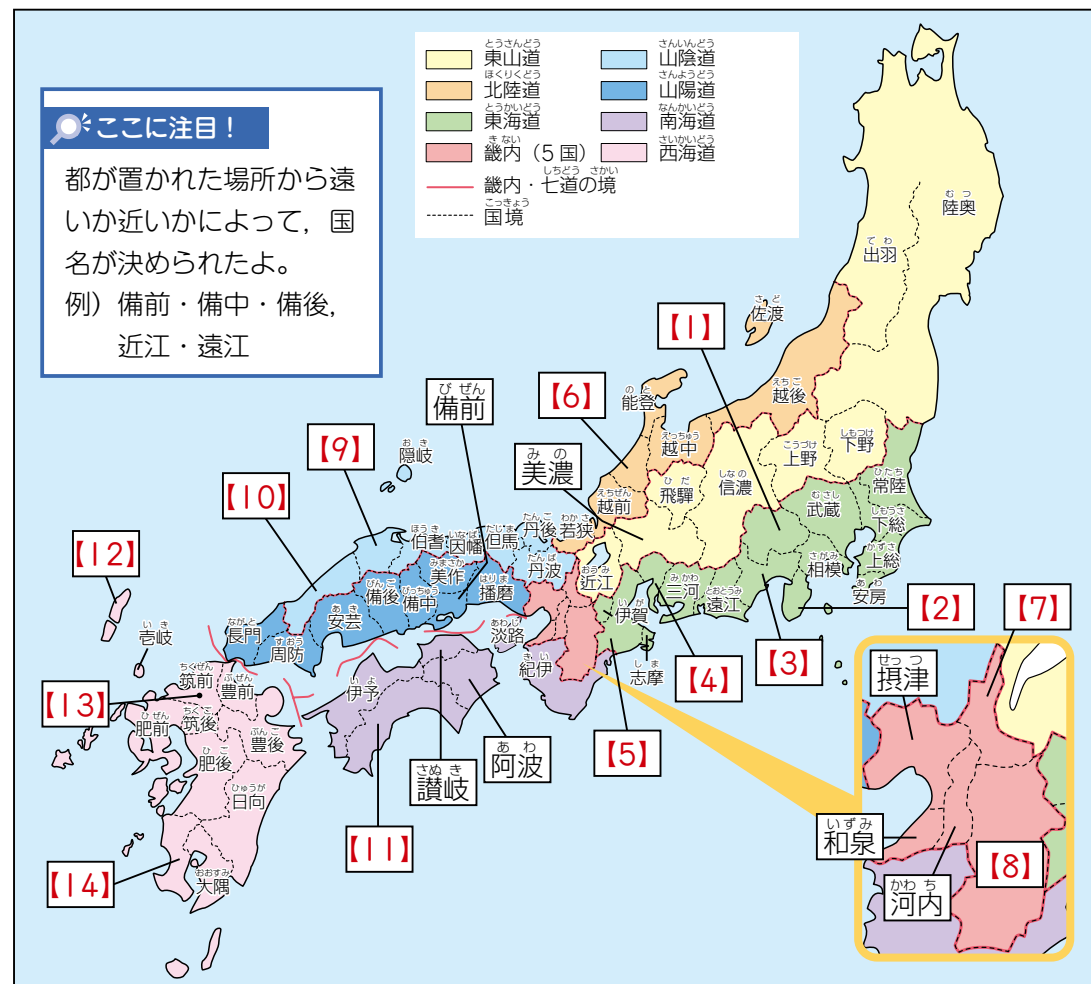


遣唐使の航路の変化

入試ではここが問われる！

- 平安京の位置や大宰府の位置を選ばせる問題がよく見られるほか、金剛峰寺や延暦寺の位置を問う出題もあります。
- 遣唐使について、地図中から航路を選ばせる問題や、なぜ危険な航路に変更したのか、理由を問う問題が見られます。

律令制のもとで定められた行政区分は、その後長い間使用され、現在も地名や特産物の名称などとして残っています。地図で位置と国名を確かめましょう。



8世紀ごろの行政区分

律令と地方制度

- 701年に定められた【15】では、全国が国・郡・里に分けられ、それぞれ国司・郡司・里長が治めました。
- 全国の国は、五畿七道に分けられました。
- 五畿（畿内）…【7】（山背）・【8】・摂津・河内・和泉
- 七道…東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道
- 西海道には、外交や防衛などを担当する【13】が置かれました。

歴史でよく出る国名

- 戦国大名の領地や江戸時代の藩の名前として出てくることがあります。
- 鎌倉時代…【2】（源頼朝が流された）
- 室町時代…山城・加賀（一揆が起こった）、【1】（武田氏）
- 安土桃山時代…【4】（織田信長）、【3】（徳川家康）
- 江戸時代…【12】（朝鮮と交易）、【14】（西郷隆盛）、【11】（坂本竜馬）

現在も残る国名

- 川や山脈の名前、伝統的工芸品の名前などとして、現在でも使われています。
- 地形名称…信濃川、筑後川、相模湾、駿河湾、紀伊半島、志摩半島、越後平野、奥羽山脈（奥＝陸奥，羽＝出羽）、飛騨山脈
- 史跡など…伊勢神宮、出雲大社、石見銀山
- 特産物など…讃岐うどん、阿波踊り、美濃焼、備前焼、加賀友禅

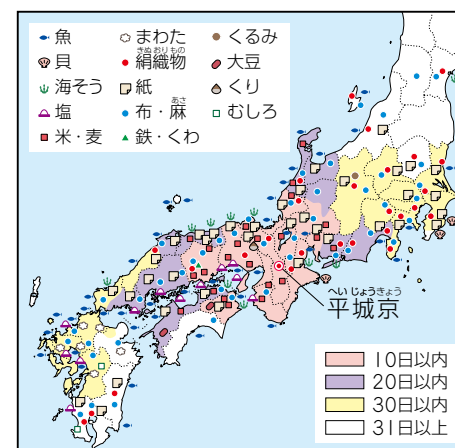
ポイント よく使われる国名とその位置をおさえよう！

- 歴史でよく出る国名…尾張・対馬・薩摩など
- 現在も残る国名…信濃川・飛騨山脈・美濃焼など

調を運ぶのにかった日数 さらにチェック！

律令制のもとではさまざまな税が課されました。

なかでも【16】は、特産物などを農民が自分で都に運んで納める必要があったため、特に都から遠い地方の人々は大きな負担を強いられました。



入試ではここが問われる！

- 歴史学習で出てくる国名や、史料中の国名について、位置を問う問題が見られます。
- 学校のある地域についてはくわしい歴史を問われることもあるので、試験を受ける中学校の周辺の国名を確認しておきましょう。